



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき かつとし 俊二

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

2009年12月27日/2010年1月3日 新年合併号 No.689

日本共産党品川区議団ホームページは [共産党 品川](#) 検索



お金なくとも医者にかかれる

住民の「SOS」受け止める医療を



「お金がなくとも医者にかかれない人が増えている」と話す、ゆたか診療所の権守光夫所長(右)

派遣切り、増大する失業者…いま、国民の生命・くらしを大事にする政治が求められています。そうしたなか、お金がなくても医者にかかれる「無料低額診療事業」が注目を集めています。今回は、無料低額診療について権守光夫医師に話を聞きました。

「無料低額診療事業」は、生活困難な方が経済的な理由によって、必要な医療サービスを受けようとする機会を制限されることのないように、通常3割の自己負担を無料または低額な料金で医療が利用できる事業です。日本共産党の小池晃参院議員の質問がきっかけになって、無料低額診療を実施する医療機関が全国で増えています。

この制度を活用できる医療機関は、生活保護受給者が一定の比率を超えて受診しているなどの条件があります。東京の南部医療圏(品川区、大田区)のなかでは大田区の大田病院が国の指定を受けて昨年(09年)7月から「無料低額診療事業」を実施しています。

始めたは
動機は

「お金で命が差別されてはいけない」：権守医師

ゆたか診療所(豊町4丁目)所長の権守光夫医師は、大田病院元院長で現在は大田病院・ゆたか診療所などを運営する医療法人の理事長です。いま、住民のSOSを受け止める医療が求められていると強調しました。

生活保護受け、ようやく受診したらガンの末期…

みやざき — 大田病院で無料低額診療を始めたとうかがいました。格差・貧困の広がりが社会問題になっており、医者にもかかれぬ人が増えていると聞きますがどうですか？

権守医師 — ゆたか診療所でも、失業したため体調が悪いのにガマン、生活保護を受けてようやく医者にかかったらガンの末期で手遅れだった患者さんがいました。お金がなくて医

者にかかれぬ人が増えていることに心を痛めています。

戦後の荒廃した時期、医療を受けられない方々の「お金の心配なくかかれる自分たちの医療機関がほしい」という声に、地域住民と医療従事者が協力してつくったのが大田病院やゆたか診療所、三ツ木診療所の始まりです。一貫して大切にしてきた

ことは「お金のあるなしで命が差別されてはいけない」という姿勢です。いまこそ住民のSOSを受け止める医療が必要だというのが、無料低額診療を始めようと考えた動機です。

経済的理由で診療費の支払い困難な方が対象

みやざき — 無料低額診療制度を利用できるのはどういう人ですか？

権守医師 — この制度を利用できるのは経済的理由で診療費の支払いが困難な方です。例えば、①保険証がない方、②国民健康保険の短期証または資格証明証の方、③病気や障害で収入がない方、④リストラや失業で一時的に収入がなくなった方などです。

無料低額診療を受けるには、まず大田病院で相談していただきます。相談のうえ無料低額診療の利用が必要と判断した場合に適用させていただいております。適用とならなくても、医療費の支払いや生活、他の制度など相談に応じています。

品川区民も無料低額診療を受けられます

みやざき — 品川区民でも大田病院の無料低額診療を受けられますか？

権守医師 — もちろん受けられます。無料低額診療は、ゆたか診療所や三ツ木診療所でもできないか考えたのですが条件がなく断念しました。品川・大田地区で指定病院は大田病院だけですが、品川区民の方は、ゆたか診療所、三ツ木診療所で相談を受けられますので、お気軽にご相談ください。

みやざき — ありがとうございます。期待しています。

無料
弁護士
が対応

法律相談

は

1月22日(金) Pm 6:30

みやざき克俊事務所



生活相談は随時受付